

## 私の屋久島

屋久町役場 堀田 勲 さん



新緑の季節の到来である。屋久島でも、これから本格的な登山シーズンを迎える。

昨今のアウトドアブームもあってか、縄文杉をはじめとする屋久島の山岳部においても、最近、軽装で山に入る人たちが目につく。山の天気は、変わりやすいのが普通であり、十分な装備をしないで登山することは、悪天候の中では、ひとつ間違えば遭難事故にもつながりかねない危険な行為である。出発時は晴れていても、途中から雨・風が強くなってきたときは、引き返す勇気も必要である。多くの人たちが、自然を求め山歩きを楽しむことは結構なことだが、自分のゴミは持ち帰る等の最低ルールを守るのはもちろん、決して自然を見くびらないことである。

ひとたび、牙をむいたときの自然の怖さは、我々人間の想像を絶するものがあるということ念頭に置いて、十分な装備で新緑の山歩きを楽しんで欲しい。

## 森林生態系保護地域 バッファゾーン整備事業の実施

入り込み者が増加していることと、小杉谷事業所が閉山して三〇周年に当たることから、旧事業所周辺を中心に本事業を実施します。

原生的な天然林の保存、貴重な野生動物植物の保護等に対する要請が強まる中、自然とのふれあいを求める人々が増加しています。  
一方、森林生態系の保全を妨げるような行為等が増える恐れが生じてきており、原生的な森林における現地見学を通して森林の仕組みや働き及び森林との接し方について学習する場の整備を図ることが求められています。

このような中、縄文杉への登山者はピーク時には六〇〇人を越すなど急激に増しており、これに伴い歩道周辺の植生の踏み荒らしや盗掘・盗伐等の違法行為、ゴミの投棄など森林生態系に反した行為も増加しています。  
このため、森林生態系の健全な維持を図る保存地区（コアゾーン）を取り巻く保全利用地区（バッファゾーン）において、国有林の適正な保全

と利用に対する情報の提供及び森林環境教育の場の整備等を行うこととしています。  
本事業を屋久島で実施するのは、平成五年に続いて二回目となります。  
具体的な事業の実施に



については、検討委員会を設けて、各方面の有識者の方々の意見を聴いて計画することとなります。

### 縄文杉登山道開所式

荒川登山口から軌道を通って小杉谷を経由する歩道は、これまで登山道としては正式なものではなく、森林管理署

としては登山者の安全面などから早期の整理を鹿児島県に呼びかけました。この度、鹿児島県と森林管理署で、森林軌道の利用協定を締結して安全対策を講じることで、正式



### ヤクタネゴヨウ人工増殖取り組み

九州森林管理局では、屋久島と種子島だけに自生し、環境のレッドデータブックに絶滅危惧種としてリストアップされているヤクタネゴヨウの人工増殖に取り組む事になりました。

現在ヤクタネゴヨウは先枯れが進行し、自生数、自生地域も限られていることから、早急の保護対策が必要とされています。先月下旬にはヤクタネゴヨウの開花調査を行いました。新芽は確認できた

ものの、残念ながら開花は確認できませんでした。多少時期が早かったように感じます。しかし、僅かではありますが、根元にはヤクタネゴヨウの稚樹が発芽しており、今後の生育が期待されます。



## 屋久島の植物



ゴイチクイ科  
クロハラ  
ホウロク

本州南部以南に分布する常緑のいちご。枝は太く棘をまばらに付け、葉は大形で革質、裏はざらざらしている。  
屋久島では、標高一〇〇〇m位までの日当たりの良い林内に普通に見られ、今の時期五弁の白い花を咲かせる。実は赤く熟し食べられる。

### お知らせ

「屋久杉の森と人の歴史展」開催

当センターでは、世界自然遺産会議期間中（屋久島会場一八〇一九日）屋久島の森と人との関わり等をテーマとする写真パネル展や、当センターの業務で得たデータ等の公表及び屋久島の衛生立体画像の展示を行います。

★保全センター人の動き

五月一日付け  
転入（九州森林管理局から）  
所員 濱田 巧



## 1 森林環境整備協力金の実施

森林及び利用施設の整備や環境美化等を行うため、協力金制度を導入しています。徴収した協力金は、一旦は林野庁の収入として国庫に入りますが、徴収した次年度に全てを管理委託費及び屋久島自然休養林の整備費として支出しています。

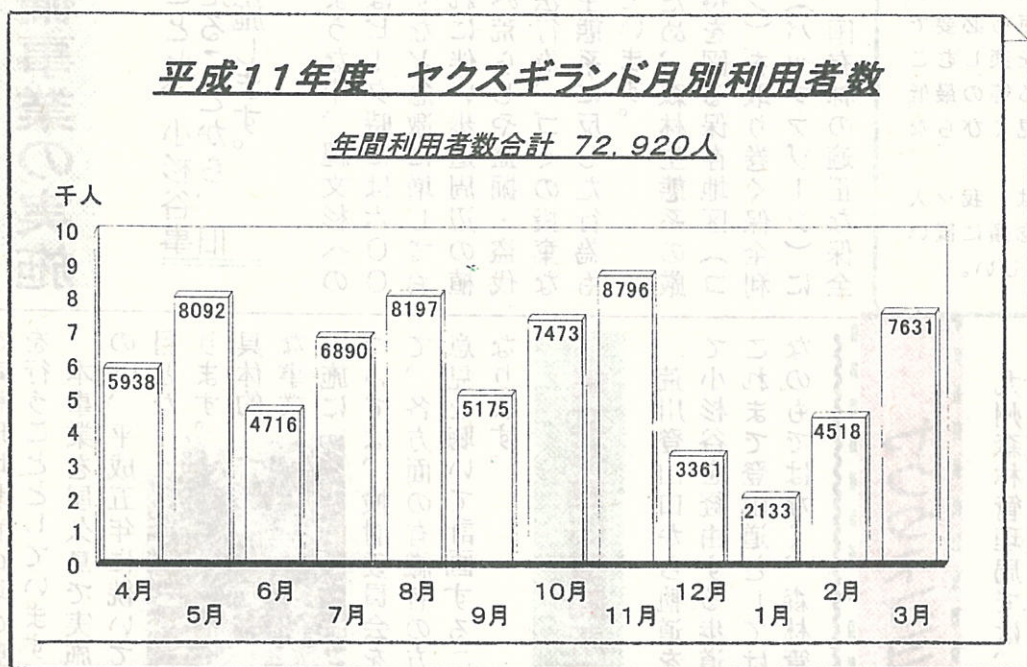
平成11年度は、ヤクスギランドと白谷雲水峡に合わせて26,694千円を支出しました。

管理委託契約相手方 ヤクスギランド 「ヤクスギランドを美しくする会」  
白谷雲水峡 「大自然緑の会」

協力金の額 高校生以上 1人 300円

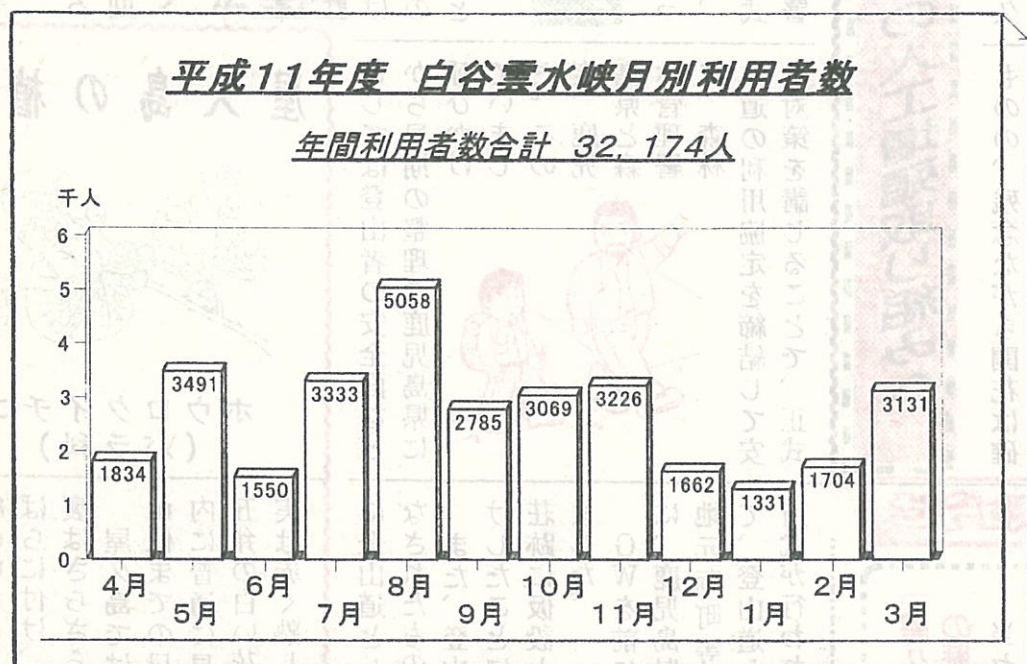
なお、島内の方は、ヤクスギランドでは島内者カードを100円で作成しており、そのカードを見せていただくことにより、協力金を頂いておりません。また、白谷雲水峡は島内者であることを申し出頂ければ、協力金を頂かないことにしています。

## 2 利用者数



ヤクスギランドの年度別の入場者数は、平成8年度71,696人、9年度76,667人、平成10年度85,404人となっています。

なお、白谷雲水峡は、平成10年度はアクセス道路が交通止めであったため、1～3月だけの運営となっています。



白谷雲水峡で県別の入場者数を調査した結果、東京、島内、鹿児島（島内者を除く）、大阪、高知の順になり、ベスト5で55%を占めます。また、外国からも125人の方が入場されています。

ヤクスギランドは、県別の団体数を調査していますが、白谷雲水峡と同じ様な傾向にあります。

平成12年度は、ヤクスギランドについても、県別の入場者数を調査することとしています。